

宗像市での ALT の取り組みについて

・ALT(Assistant Language Teacher : 外国語指導助手)とは？
 外国語を母国語とし、小中学校・高校において英語発音や国際理解教育の向上を目的に学校へ配置される人材。

宗像市では 22 校の小中学校へ 9 名の ALT を配置：

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. 城山中校区 | 6. 日の里中校区 |
| 2. 赤間小学校 | 7. 自由ヶ丘校区 |
| 3. 河東中校区 | 8. 吉武小学校+コミュニティセンター |
| 4. 大島/玄海中校区 | 9. 河東小学校 |
| 5. 中央中ブロック | |

【平成 26 年度 宗像市 ALT 配置事業の目的】
 小学校の外国語活動及び中学校の外国語科における、発達段階に即した効果的かつ継続的な ALT 活用を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるとともに、「聞く・話す・読む・書く」の 4 技能をバランスよく身に付けた「英語が使える宗像の子」の育成を図る。また地域においては、コミュニティセンターを拠点とした ALT との英会話交流を継続的に行うことで、学校教育における外国語教育の推進を支える土台づくりを行い、グローバル化社会に対応できる人材育成につなげていく。

今年度の ALT 配置事業の特徴：

【学校英語力強化型プラン：河東小学校】

【地域グローバル化プラン：吉武小学校】

一般的な外国語活動への業務に加え、外国語活動外での活用や地域への取り組みが実施されている。



ALT 配置事業の基本取り組み

- ・ 小学校での外国語活動、中学校での外国語科における指導補助
- ・ 学校行事への参加（異文化交流：体育祭・文化祭・遠足）
- ・ 課外授業への参加（社会科見学・体験授業等）

【学校英語力強化プラン】河東小学校での取り組み

- ・ 英語校内放送（朝礼前・放課後・給食時の全校放送を一部英語で放送委員が放送）
- ・ 各階廊下に「クラスルームイングリッシュ」の表示と、授業内での使用の徹底
- ・ 学校内の施設表示を日本語と英語で表記
- ・ 低学年ではモジュールの時間（1時間目の前15分間）を活用し、「英語の時間」で日常的な題材を学習
- ・ 外国語/英語活動以外で ALT との会話の機会を増やす



英語表記が学校のいたるところにあることで、英語への親しみが持てるように。



低学年授業の様子（2年生）：

色・形・曜日など日常で使えるような言葉を使用し英語に親しんでもらいます。「知ってる人？」と言う問いにほとんどの児童が手を挙げて発表してくれます。

授業外での ALT との関わり：（新体力テストの様子）

英語/外国語活動の時間だけでなく、日常的に話したり聞いたりする機会をなるべく多く作ります。

【地域グローバル化プラン】吉武小学校での取り組み

- ・ 校区コミュニティセンターでの勤務日
- ・ 地域住民向けの簡単な英会話教室の実施
- ・ 学校内の施設表示を日本語と英語で表記
- ・ 地域住民向けの簡単な英会話教室の実施
- ・ 「寺子屋事業」（校区内児童が下校後集う場）において ALT と学校外で関わる時間を設け、異文化交流と外国語/英語活動の定着をはかる。



知っている単語やジェスチャーを使って自分の意見や今日の出来事などを伝えます。



寺子屋の様子。歌や日常で使える英語を中心に教えることで興味や日常とのつながりを持たせます。